

公共事業事前評価調書(平成28年度予算要望)

所管課:海岸防災課 担当班:災害砂防班

事業名	宇茂佐地区急傾斜地崩壊対策事業		事業区分	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	名護市宇茂佐					
事業の諸元	急傾斜地崩壊危険区域 A≒2.0ha 吹付法砕工(200×200@1400) A = 9,550 m ² 鉄筋挿入工(D19 L=4.5m) A = 4,670 m ²					
事業の概要	<p>当該地区は、名護市宇茂佐に位置する南向きの斜面で、がけ高約20m、平均勾配約34°の急傾斜地である。保全対象はがけの上と下の人家68戸に加え、がけ下の国道449号も保全対象となる。</p> <p>平成23年9月の台風9号による豪雨により斜面の一部が崩壊し、斜面上のブロック塀や人家の庭にひび割れが発生するなど、斜面崩壊の兆候が確認されることから、急傾斜地崩壊対策事業を実施するものである。</p>					
事業の必要性・効果等	<p><必要性等> 当該急傾斜地の一部においては、平成23年9月の台風9号による豪雨により斜面崩壊が発生し、斜面上のブロック塀や人家の庭にひび割れが発生するなど、斜面崩壊の兆候が確認されることから、早急に対策する必要がある。</p> <p><効果等> ① 人家68戸の住民の生命を守ることができる。 ② 国道449号を保全することができる。</p>					
事業期間	事業採択	平成28年度	完了(予定)	平成32年度		
全体事業費	5.2億円	補助・単独の別	単独	補助率	-	
費用対効果	B/C = 4.3	総便益B	20 (億円)	総費用C	4.6 (億円)	規準年
		①一般資産被害軽減額	14.8 億円	事業費	4.6 億円	平成22年度
		②公共施設等被害軽減額	0.1 億円			
		③人的被害軽減額	5.1 億円			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「(4)社会リスクセーフティネットの確立」として、土砂災害の防災対策への取り組みが位置づけられている。</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画において、「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」として「〇土砂災害対策 急傾斜地崩壊対策事業」が位置づけられている。</p> <p>当地区は沖縄県における急傾斜地崩壊危険箇所(433箇所)に位置づけられている。</p>					
環境への配慮	コンクリート法枠内に植生を行う等、緑化工法を採用する予定。					
関係する地方公共団体等の意見	<p>平成23年12月に宇茂佐区長他により北部土木事務所へ来所し斜面对策の要望をした。</p> <p>平成25年1月に宇茂佐区から名護市長に斜面对策の要望が提出され、同年同月には、名護市長から県知事あて対策の要請がなされている。</p>					
概要図(位置図)	<p>位置図 名護市宇茂佐</p> <p>北部職員住宅(宇茂佐団地)</p> <p>屋部川</p> <p>国道449号</p>					